

A5(148×210)(1/2)
Daiwa IM φ34・24 16lb-100m
スプール G1

A5(148×210)(2/2)
Daiwa IM φ34・24 16lb-100m
スプール G1

SLPWORKS

IM φ34・24 16lb-100m スプール G1

取扱説明書

この度はIM φ34・24 16lb-100m スプール G1 をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この製品を正しくご使用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書及び、リール本体の取扱説明書をよくお読み
ください。また、製品同様にこの取扱説明書も大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

【標準巻糸量】	IM φ34・24 16lb-100m スプール G1 16lb.(0.330mm)-100m(110yds.) PE#2.(0.20mm)-200m(220yds.)	【使用可能機種】 IM φ34・24 スプールリールシリーズ
※巻糸量は目安であり、メーカー・アイテム・テンション により異なります。	【付属品】 調整ワッシャー(0.5mm×1、0.1mm×4、0.03mm×3)、 ベアリングリング、Oリング×1、ワーニングカード	※最新の情報はホームページをご覧ください。

●安全上の注意

⚠ 注意

① 糸が勢よく出ているときは、糸に触れないでください。糸で指を切るおそれがあります。

② 糸が勢よく出ているときは、スプールの上に指を置かないようにご注意ください。火傷や、指をはさんで怪我をするおそれがあります。

③ 超薄肉スプールのため、スプールエッジ部が鋭利になっており、特に濡れた手で触れると怪我をするおそれがあります。指などを切らないよう十分注意してください。

④ 幼児の手の届く所には置かないでください。予期せぬ事故や怪我につながるおそれがあります。

●ご使用上の注意

⚠ 注意

① 本製品の組み立て、取り付けに伴いましてリールの分解が必要となります。適正な工具をご使用ください。怪我や破損のおそれがあります。

② 落下などの強いショックがかかると、破損する場合がありますので、お取り扱いにはご注意ください。

③ リールの部品や本製品にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないようにご注意ください。

④ 組み立て、取り付け作業後は正常作動をご確認ください。

⑤ 分解作業時の部品紛失にご注意ください。

⑥ 部品が固着している際は無理に外すとリールの破損につながるおそれがあります。ご注意ください。

⑦ 本製品は釣具として開発されていますので、釣り以外の用途で使用しないでください。

⑧ 本製品は十分な強度基準で設計・製造されていますが、実釣時に想定以上の極端な負荷がかかるケースでは破損するおそれがあります。

⑨ 海水で道糸が湿った状態のまま保管するとスプールが腐蝕するおそれがあります。水道水を巻糸部だけにあたるように掛けて海水を十分流してから保管してください。

⑩ シンナー、ベンジン、アルコール、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類などの有機溶剤は、ご使用にならないでください。また、上記が手についたまま本機を扱うこともおやめください。本機の表面が変質したり塗装が剥けたりするおそれがあります。

⑪ 製品改良のため、仕様およびデザインの一部を予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

⑫ 使用糸の径の大小、糸巻き時の張力の変化、作動クリアランスなどにより、表示巻糸量、巻糸状態に差異が生じることがあります。

⑬ 弊社純正部品以外の取り付けによる不具合は保証できません。また、弊社純正部品以外の部品が取り付けられたままでの修理は場合によってはお断りさせていただくことがございますのであらかじめご了承ください。

●取扱い・保管上の注意

・海水でご使用された後は、スプール外周の水分をタオルなどで拭き取ってください。乾いて塩分が結晶化すると、スプールやフレームを傷つけてしまう場合があります。

・根掛かりしたときに、スプールを指で押さえてラインを切ることはおやめください。スプール変形の原因になります。必ず手でラインを持って根掛かりを外すようにしてください。

・なるべく乾燥した冷暗所に保管してください。濡れたまま湿度の高い状態で密封された空間(自動車のトランク、ダッシュボード等)に長時間放置されますと腐食を起こす可能性があります。

・スプールは、落下などのショックで変形してしまうと、スプール性能が発揮されなくなります。お取り扱いには十分ご注意ください。

・スプール本体のインダクトローター部端面には触れないでください。性能が発揮されなくなるおそれがあります。

●アフターサービスについて
本製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたものですが、万一、故障が生じ修理が必要な場合はお買い求めの販売店、または右記のお客様センターまでお問い合わせください。なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

お客様センター（無料）携帯電話からもご利用できます
ホームページ上からもご確認、お問い合わせできます
<http://sportlifeplanets.com>
TEL 0120-506-204
【受付時間】9:00～17:00(土・日・祝祭日は除く)
株式会社スポーツライフプラネッツ
〒190-0031 東京都立川市砂川町8-79-1

●スプール交換方法、お手入れ方法及び、ラインに関する注意

スプール取り外し方法、お手入れ方法及び、ラインに関する注意はリール本体の取扱説明書をご確認ください。

※スプール交換後はアプリ上でのライン入力設定を必ず行ってください。
詳しくは、Setting画面→「ライン(糸)設定」から設定ください。

ヘルプガイド・よくある質問 ⇨  DAIWA CONNECTING-SYSTEM ⇨ 

⚠ 注意

※スプール側面部の“シルバー / ブラック”部分について、着色したり剥がしたりしないでください。回転検知機能に関わるものであり、製造上のマーキングではございません。また、オイルなどを付着させないでください。ボールベアリング部に過剰に注油されると、オイルが飛散し、回転検知性能に支障をきたすおそれがあります。ご注意ください。

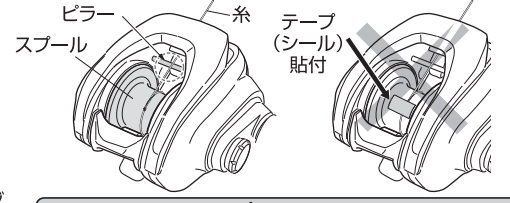
●スプールへのラインの結び方

・図のようにスプールに糸を結びつけます。糸はピラーの上を通してください。

※ピラーの下に糸を通すとTWSの効果が発揮されません。

・スプール糸巻き時(下巻きラインに対しても同様)にテープやシールを貼ることはおやめください。

※テープ貼付によるわずかなバランス変化もキャスティング時のノイズの原因となります。

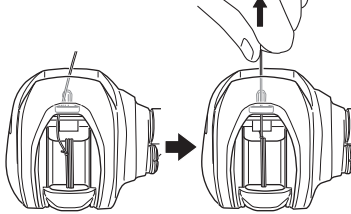


⚠ 注意
※ラインを直接スプール面にしっかりと結び付けてください。結び付け方が弱い場合、スプール底面でラインがすべり、しっかりとラインを巻き取れないおそれがあります。

●スプールにPEラインを巻きはじめるときの結び方

・PEライン使用に際しては、スプール巻糸面でラインが空転するトラブルを防止するため、3回から5回程、スプールに巻きつけた後、しっかりと結び付けてください。また、結び付けた後、強く引っ張ってもスプールから空転しないことを確認した後、糸巻きを開始してください。

※テープで固定するのはおやめください。テープで固定するとスプールの回転バランスが崩れ、「ブーン」、「キーン」といった異音が発生します。



●スプールガタ調整方法

・スプールを交換した際にスプールガタ“ゼロ設定”に調整する必要がある場合があります。その場合は以下の手順で調整を行ってください。

① サイドプレートからベアリングリングをピンセット等で取り外し、Oリング、ボールベアリング、ワッシャーA、B、Cを取り出してください。

※Oリングを外さずにボールベアリングを外そうとするとOリングが破損するおそれがあります。

② スプールのガタの状態に応じて図のワッシャーAの部分に付属の調整ワッシャーを追加または、ワッシャーAと調整ワッシャーを交換し、ワッシャーB、C、ボールベアリング、Oリングを戻し、ベアリングリングを取り付けてください。

③ サイドプレートをリール本体に取り付け、スプールガタを確認し微小なガタつき(0.2mm程度)がある状態になっていれば調整完了です。

※スプールのガタが全く無い状態で使用するとスプール本来の性能が発揮されませんのでおやめください。

